

県指定文化財・三木家住宅 保存修理工事報告

三福崎町文化財だより 66

福崎町教育委員会
柳田國男・松岡家記念館
神崎郡歴史民俗資料館

平成22年度から始まった三木家住宅主屋の修理工事は、5年目となりました。

1年目は、表門と厩・南土塀の一部を解体しました。2年目は、主屋の解体工事を実施しました。3年目からは、組立工事に着手し、軸組(柱や梁の構造部分)の修理、4年目は、屋根の垂木や野地板といった造作材の修理や大屋根の瓦葺き、土壁の下地となる竹小舞の修理、また、一部、床下の発掘調査を実施しました。今年度は、下屋の瓦葺き、荒壁塗り、床板や床の間、書院など、解体した造作材の取り付けを実施しています。構造のみの状態から、元の家らしい雰囲気に戻って来ました。

解体工事中に、建築年代や修理の変遷、技法などの文化財調査を並行して実施しました。

主屋の建築年代が宝永2年(1705)であったこと

南列の部屋は、建築当初は2室しかなく、元文2年(1737)に、「中のま」「かみのま」の2室が増築されたこと。

表向きの場(ハレの場)と内向きの場(ケの場)を分ける、跳ね上げ式という特殊な建具で境界があったこと。以上は、これまでの文化財だよりで報告しました。

これらの調査結果をふまえて組立工事をすすめる中で、建物をどの時代に設定し、どう復元するかは、修理工事で重要なテーマです。復元の時代設定

主屋は、江戸の大庄屋の時代から大正期に至るまで、三木家のおかれた時代背景に合わせ、小さくさまざまな変遷を繰り返して来ました。大庄屋時代に復元することも検討しましたが、一方で、柳田國男が預けられた明治期や、主屋に付属する大正期の上質な湯殿を失うことなどを考えると、三木家が活躍した江戸時代から大正期までの変遷を包括的に残すことが、建物の歴史的価値をもっとも高めることができると判断しました。復元したこと、しなかつたこと

前述の時代設定により、次のように復元をすすめています。建築当初になかった、「中のま」「かみのま」の2室は、残すことになりました。跳ね上げ式の境界は、建築当初にはなく、明和6年(1769)の間取り変更時に設けられ、程なく外されました。民家に前例のない興味深い技法ですが、2次的な(後補の)変更で、一時的なものだったため、復元しないことになりました。改修された台所は、聞き取りや痕跡から、旧状に復元することになりました。そのほか構造補強、電気や給排水、消防設備の整備を実施しています。

これらの現状変更は、兵庫県文化財保護条例に基づいて、県教育委員会の許可を受けて実施しています。

これらの変更は、兵庫県文化財保護条例に基づいて、県教育委員会の許可を受けて実施しています。



床下の耐震補強金物(耐震リング)



台所の復元の様子(間取りや床の高さを復元しています)



左官中塗りのようす(西妻壁)



屋根修理のようす

歴史民俗資料館だより



神戸大学による調査の様子

当館では、神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターと共同し、地域の歴史文化に関する研究を進めています。本展は、平成26年度に実施した調査（現地調査や聞き取り調査をはじめ、柳田國男と松岡家に関する調査）について紹介します。

平成26年度企画展 ふるさと再発見

～歴史遺産は今昔をつなぐ～

【協力】神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター

入館無料 3月31日(火)まで開催

同時開催

平成26年度
みんなのひなまつり展
ふくさき歴史体験写真展

企画展開催中、手づくりのひな飾りを集めた「みんなのひなまつり展」、
「ふくさき歴史体験写真展」も開催します。



ひな飾りを当館で展示しませんか？
手づくりのひな飾りをお持ちの方はご連絡ください。☎22-5699

國男先生たちを写した貴重な写真です。
ぜひ見に来てね！



左から國男、映丘、静雄
(個人蔵)



大正15年(1926)ごろの鈴ノ森神社
(個人蔵)

柳田國男記念館だより

柳田國男生誕140年企画展

柳田國男の『故郷七十年』

入館無料
3月31日(火)まで

平成27年(2015)は、柳田國男生誕140年という記念すべき年です。そこで、本展では『故郷七十年』を紹介します。國男や松岡家の人々が、辻川という場所、どのように物事を感じ、成長したのかを貴重な古写真とあわせてご覧ください。

『故郷七十年』

『故郷七十年』は、國男が85歳のときに出版された本です。國男はこの本で、自分自身の半生をふり返り、福崎での体験も記しています。



『故郷七十年』
〔昭和34年(1959)刊〕

國男先生は、『故郷七十年』に記した自分の体験を、役立ててほしいと願っていたんだよ。



辻川界隈のようす
〔宮崎修二郎『柳田國男アルバム原郷』
昭和63年(1988)初版〕



國男の証書 明治13年(1880)4月



幼少期の國男
(個人蔵)

神積寺で消防大訓練！

国の重要文化財など、多数の文化財を所蔵する神積寺で、1月24日、姫路市消防防署による消防大訓練がありました。これは、1月26日の文化財防火デーにあわせた訓練で、お寺や地元関係者、加治谷分団員などが参加しました。

初期消火、119番通報、文化財搬出、避難誘導、一斉放水など、本番さながらの緊張感ある訓練となりました。文化財は焼失すると、2度と戻ってきません。地域みんなで火災から文化財を守り、後世へ伝えていきましょう。



松岡五兄弟

松岡映丘

第8話



福崎の身近にある歴史を掘り起こそう 松岡映丘の生涯と功績

奈良県立万葉文化館 学芸員 安永幸史

福崎町立柳田國男・松岡家記念館では、柳田國男を中心とした松岡五兄弟を顕彰しています。近代日本文化史の中で大きな役割を果たした兄弟ですが、今回は末弟の松岡映丘（1881〜1938）について紹介させていただきます。

松岡映丘（本名輝夫）は、明治14年（1881）に播磨北部の神東郡西田原村辻川（現、兵庫県神崎郡福崎町西田原）の旧家・松岡家の末子として生まれ、兄には医師で歌人・国文学者の井上通泰（岡泰蔵）、民俗学者の柳田國男など、近代日本の学問や文学に大きな影響を与えた人物がいますが、映丘の興味は絵画、とりわけ武者絵へと向かいます。9歳の時に福崎を離れ上京した映丘は、兄であ

る通泰のもとに治療に通っていた縁から、当時、東京美術学校教授であった橋本雅邦に15歳の頃から師事します。しかし、しばらくすると雅邦のもとを離れ、明治30年（1897）に住吉派の画家、山名貫義（つらよし）入門、本格的に大和絵の技法や有職故実などを研究するようになります。雅邦は、江戸時代に武家に重用された漢画系画派である狩野派の流れを汲み、硬質な筆法を特徴とする一方、山名貫義の流派である住吉派は装飾的で優美な線描を基本とする大和絵系の画派です。幼少期に狩野派の修行をすくに捨てて大和絵の修行へと移ったことは、後の活動への展開を感じさせるものであると言えるでしょう。

その後、明治32年（1899）に、映丘は東京美術学校に入學、川端玉章や寺崎広業の指導を受けるとともに、小堀鞆音らの「歴史風俗画会」に参加し、さらに古典や有職故実の研究を深めていきます。大正元年（1912）の第6

回文展において「宇治の宮の姫君たち」が初入選すると、以後、官展を舞台に活動し、大正から昭和にかけての大和絵の復興に大きな役割を果たしました。映丘の主導した濃密で鮮やかな色彩を特徴とした絵画様式は昭和初期の画壇を一時風靡するに至ります。その後、昭和10年（1935）に、映丘は門下の画家を糾合して「国画院」という美術団体を結成しますが、第1回展に出品したのみで昭和13年（1938）に58歳で生涯を閉じます。

映丘の画家としての功績は「大和絵の近代的再生」ということとなります。江戸時代、武家では狩野派が重用されていたことは前述した通りです。室町時代に中国水墨画の筆法を基盤として興隆した狩野派は、桃山時代から江戸時代にかけて時の権力者との結びつきを強めていきます。その一方で、平安時代の絵巻物などの様式を受け継ぐ大和絵の流派である土佐派は、やや不遇

な立場に甘んじることとなります。明治時代には、流派の垣根を越えた絵画が求められ、そうした中で伝統的な大和絵の様式は時代からとり残されつつありました。こうした状況の中、大和絵のエッセンスが近代日本画の中に再生し、画壇を風靡する運動にまで成長していったことは、映丘の力による部分が大きいのです。しかし、ここで重要なことは、映丘の功績は「大和絵の近代的再生」であって単なる懐古的な再現ではないことです。つまり、映丘は大和絵を伝統的な姿そのままではなく、リフォームする形で復活させたとと言えます。例えば、柳田

國男・松岡家記念館所蔵の「太平楽」（写真1）では、人物の鎧が非常に鮮やかな赤で描かれています。こうした色彩の強度は江戸時代以前の大和絵にはあまり見られないものです。また、大和絵の色彩感覚を生かした純粋な風景表現を打ち出したことも、伝統的な大和絵には見られない映丘芸術の特徴です。姫路市立美術館所蔵の「春の山」（写真2）はそうした風景画の優品と言えます。柳田國男・松岡家記念館には、映丘のこうした制作活動をうかがうことができる画稿が多く所蔵されています。また、奈良県立万葉文化館では今年3月21日から5月10日までの期間に「松岡映丘 古典美の再興」と題した展覧会が開催されます。この機会に、映丘作品に触れ、そのすばらしさを感じていただければ幸いです。



写真1
松岡映丘「太平楽」
1928年 記念館所蔵



写真2
松岡映丘「春の山」1922年
姫路市立美術館所蔵

お詫びと訂正 広報2月号15ページに掲載した「大庄屋三木家よもやま話第86話」掲載資料の日付けに誤りがありました。正しくは「大正12年3月31日付」です。お詫びし訂正します。
(社会教育課)

終戦70年 戦争関連資料の収集にご協力ください

歴史民俗資料館では、戦争の記憶・悲惨さを風化させず、平和の尊さを後世に伝えていくため、開館当初から戦争関連資料を収集・保存しています。平成27年は、終戦から70年を迎えます。この節目の年にあたり、残された資料をとおして、戦時中の福崎の人々のくらしに焦点をあてた特別展を企画しています。

年々、戦争体験者が少なくなり、資料が処分されたり、散逸したりしています。昭和の初めから昭和20年ころの福崎町に関係するもので、戦時中の生活のようすや戦争に関わる資料、写真等をお持ちの方は、資料館（☎22・5699）までご連絡ください。

主な収集対象資料

生活に関する資料

防空ずきん、国民服、もんぺ、陶製代用品、軍事郵便、衣料切符等

出征・軍隊生活に関する資料

召集令状(赤紙)、出征のぼり、軍服・兵士の装備品等

教育に関する資料

墨塗り教科書、国民学校関係等

その他

古写真、ポスター・チラシ等



年間来館者1万人突破 たくさんのご来館ありがとうございます

歴史民俗資料館、柳田國男・松岡家記念館の年間来館者が、今年度、ともに1万人を超えました。1万人を超えたのは、資料館は昭和57年の開館以来はじめて、記念館は17年ぶりのことです。

1万人目の来館者には、高寄教育長から記念品を贈呈し、1万人突破を祝いました。これを機に、いっそうみなさんに親しまれる博物館をめざします。

1万人目の来館者



上延晴正さん(姫路市)

資料館



近藤会美さん(加古川市)

記念館

開館時間
午前9時～午後4時30分

休館日
月曜日、祝日の翌日、12月28日～1月4日

入館料 無料

交通 JR播但線で福崎駅下車、徒歩約30分、またはバス・タクシーを利用。

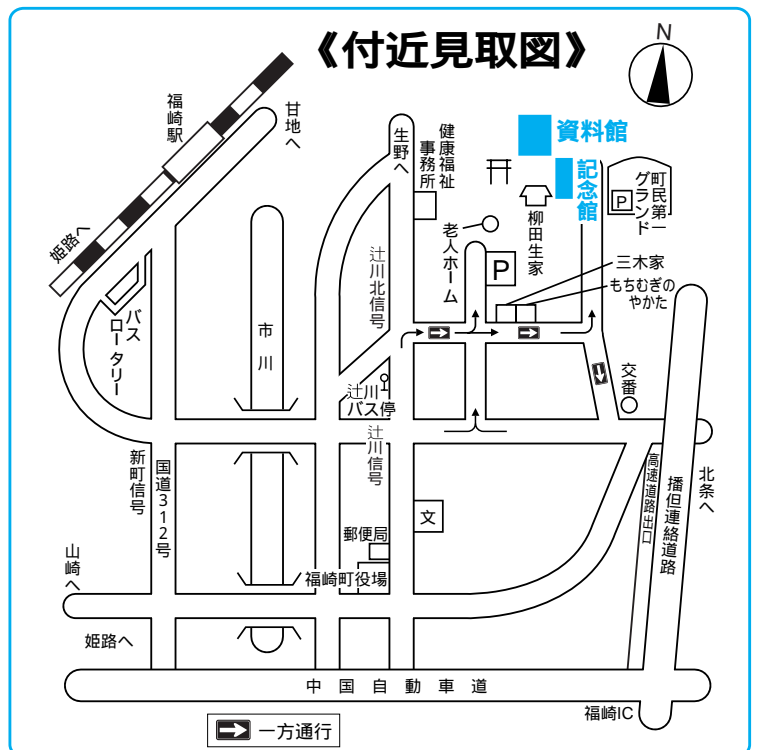
車は播但連絡道路・中国自動車道で福崎ICから約5分、または国道312号線を利用。

柳田國男・松岡家記念館 歴史民俗資料館 利用案内



福崎町文化財だより(66)発行 平成27年3月5日

- 福崎町教育委員会
福崎町南田原3116の1
☎0790220560
- 柳田國男・松岡家記念館
神崎郡歴史民俗資料館
福崎町西田原1038の12
☎0790221000
(記念館)
- ☎0790225699
(歴史)



平成27年度 し尿くみ取りカレンダー

地区名	八反田・西野・西野野垣内	長目・上中島・西光寺	井ノ口・北野・加治谷・亀坪	中島・吉田	辻川	田尻	大門	余田・小倉・庄・鍛冶屋	南大貫・東大貫・西大貫	馬田	新町	山崎	駅前	福田	田口・板坂・桜・長野・神谷	西谷・西治・北ノ岡団地・高橋	
4月	1(水)	2(木)	3(金)	6(月)	7(火)	9(木)	10(金)	14(火)	15(水)	17(金)	20(月)	21(火)	22(水)	23(木)	24(金)	27(月)	28(火)
5月	1(金)	7(木)	8(金)	11(月)	12(火)	14(木)	15(金)	18(月)	19(火)	20(水)	21(木)	22(金)	25(月)	26(火)	27(水)	28(木)	29(金)
6月	1(月)	2(火)	3(水)	5(金)	8(月)	9(火)	11(木)	12(金)	15(月)	16(火)	18(木)	19(金)	23(火)	24(水)	25(木)	26(金)	29(月)
7月	1(水)	2(木)	3(金)	7(火)	8(水)	9(木)	10(金)	14(火)	15(水)	16(木)	17(金)	22(水)	23(木)	24(金)	27(月)	29(水)	30(木)
8月	3(月)	4(火)	5(水)	6(木)	7(金)	10(月)	11(火)	12(水)	17(月)	18(火)	19(水)	20(木)	21(金)	25(火)	26(水)	27(木)	28(金)
9月	1(火)	2(水)	3(木)	4(金)	8(火)	9(水)	10(木)	11(金)	14(月)	15(火)	16(水)	17(木)	18(金)	24(木)	25(金)	28(月)	29(火)
10月	1(木)	2(金)	6(火)	7(水)	8(木)	9(金)	13(火)	14(水)	15(木)	19(月)	20(火)	21(水)	22(木)	26(月)	27(火)	28(水)	29(木)
11月	2(月)	4(水)	5(木)	6(金)	9(月)	10(火)	11(水)	12(木)	13(金)	17(火)	18(水)	19(木)	20(金)	24(火)	25(水)	26(木)	27(金)
12月	1(火)	2(水)	3(木)	4(金)	8(火)	9(水)	10(木)	14(月)	15(火)	16(水)	17(木)	18(金)	21(月)	22(火)	24(木)	25(金)	28(月)
平成28年 1月	4(月)	5(火)	6(水)	7(木)	8(金)	12(火)	13(水)	14(木)	15(金)	18(月)	19(火)	21(木)	22(金)	25(月)	26(火)	27(水)	28(木)
2月	1(月)	2(火)	3(水)	4(木)	5(金)	9(火)	10(水)	12(金)	16(火)	18(木)	19(金)	22(月)	23(火)	24(水)	25(木)	26(金)	29(月)
3月	1(火)	2(水)	3(木)	4(金)	7(月)	9(水)	10(木)	11(金)	15(火)	16(水)	17(木)	22(火)	23(水)	25(金)	28(月)	29(火)	30(水)

くみ取りカレンダーにそって計画収集をします。**計画収集を希望する方は、役場へお申し込みください。**その際は印鑑をご持参ください。(計画収集の方を優先しますので、随時で申し込みの方は、遅れる場合があります。)くみ取り手数料は、**必ずくみ取り券で支払ってください。**収集の当日は、バケツ2～3杯の水を用意し、作業がしやすいようにしてください。**計画収集の変更・中止をする場合は、必ず役場で手続きをしてください。**その際は印鑑をご持参ください。

＊くみ取り券販売所＊

- 福崎町役場(町金庫)
- 兵庫西農協(福崎支店・福崎東支店)
- みなと銀行福崎支店
- 播州信用金庫福崎支店
- 姫路信用金庫福崎支店
- 但馬銀行福崎支店
- 但陽信用金庫福崎支店

中島	マツヤ書房	駅前	パナハウスごとう電化
辻川	靴とはきもの 木村屋	山崎	楠田商店
庄	牛尾商店		

申し込み・問い合わせ先 《福崎町役場 住民生活課 ☎22 - 0560 内線373》

平成27年度 学童保育園のご案内

福崎町では、学校や地域の協力を得て学童保育園を開設し、留守家庭児童の保護・健全育成を図っています。年齢の異なった子どもたちが家庭的な雰囲気の中で、仲良く協力しながら放課後を過ごすことを目的としています。



開設場所

- ・福崎西部学童保育園（福崎・高岡小学校区対象）
福崎小学校北校舎 1階空き教室
- ・福崎東部学童保育園（田原・八千種小学校区対象）
田原小学校体育館北

土曜日は、事前に希望がある場合のみ、全小学校区対象に福崎東部学童保育園で実施します。

対象児童 町内の留守家庭の小学生

開園日時 日曜日・祝日・年末年始等を除く毎日

- ・平日：学校終了後～18:00
- ・授業のない日：8:00～18:00

負担金 月額6,000円

通園方法

田原・福崎小学校の児童は徒歩。八千種・高岡小学校の児童は学童保育園まで送ります。

帰りと授業のない日の送迎は保護者でお願いします。

申請方法 印鑑を持参して学校教育課へ

問い合わせ先 教育委員会 学校教育課(内線251)

各種の相談事業（定例分）

サルビア会館でさまざまな相談を受けていますのでご利用ください。

人権相談

毎月第3水曜日 10:00～15:00
(担当=住民生活課・内線374)

母子相談

毎月第2月曜日 10:30～15:00
祝日の場合は翌日に変更
(担当=健康福祉課・内線364)

なやみごと相談

毎月第1・3水曜日 13:00～15:00
(担当=社会福祉協議会・☎23 0300)

行政相談

毎月第3水曜日 13:00～15:00
(担当=総務課・内線221)

住民生活課窓口からのお知らせ

毎週金曜日は午後7時15分まで窓口業務を延長して行っています。

対応業務は、住民票、戸籍、印鑑証明書、所得証明書の交付です。

*住民異動、印鑑登録は除く。



食育通信

～みんなで食育を実践しよう～

サルビア保育園の取り組み お米作りに挑戦！

サルビア保育園では、「栽培・収穫体験を通し、食への関心を高め、さまざまな食べ物を進んで食べる子どもを育てる」を目標に食育に取り組んできました。

5歳児は、お米作りに挑戦しました。いつもは当たり前のように食べているお米ですが、「どのようにして作られているのかな？」と思い、土づくりから始めました。バケツをのぞいては、「少し大きくなった。」「おいしいお米やから、カエルが泳いでるんや。」と喜び、稲が伸びてくると、「早く食べたい。」と収穫を楽しみにしていました。収穫したお米を精米し、自分たちでおにぎりにして食べました。

お米作りを体験して、食べ物の大切さや長い月日をかけて作ってくださっている方々への感謝の気持ちを持つことができました。



お米を収穫



ご飯が炊けたにあっていいにおい